

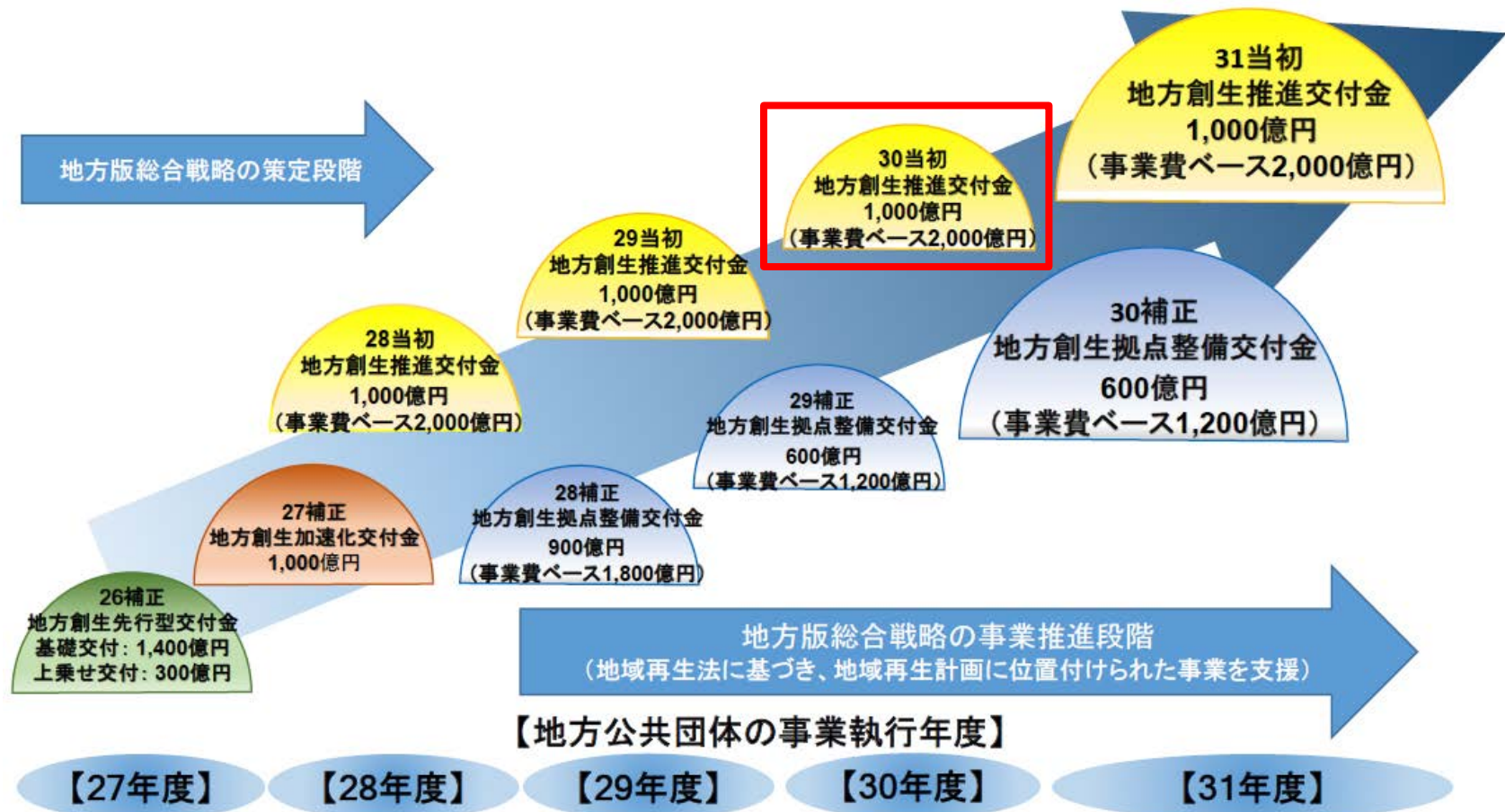
平成30年度

地方創生関連交付金事業の概要

地方創生関連交付金事業とは

【概要】

- 自治体の自主的・主体的な取組みで、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを取り込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組みを支援



平成30年度に実施した事業

※「地方創生推進交付金」(交付率:1/2)を活用

- ① **地方発イノベーション創出環境の構築事業**
- ② **福岡市・九州離島広域連携事業**
- ③ **大規模国際スポーツ大会を契機とした
スポーツの振興及び地域の活性化**
- ④ **アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業**

①地方発イノベーション創出環境の構築事業

事業費:19,876千円

1 目的

理化学研究所や九州大学などの知的資源、技術シーズを活用し、産業界やスタートアップを巻き込んだ地域のオープンイノベーションを推進する。

【総合戦略における位置づけ】

＜基本目標 I＞

しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる
(イ)地域産業を支えている産業の競争力強化

2 実施内容

■企業ニーズの収集や大学等シーズの発信活動

・企業が抱える製品開発などの課題に対応するための
よろず相談窓口「分析NEXT」を設置し、コンサルティングや
電子顕微鏡等分析機器を活用した技術支援を九州大学と
連携して実施

＜相談例①＞ 「工場向け照明器具の性能改善」



照明器具

明るさがバラつく原因である封入ガスの組成・圧力などを解析。
性能アップや、自社技術を活かした新型の開発に向けて取り組み中。

＜相談例②＞ 「養殖カキ・アサリ等の生存率向上」



養殖場

貝の生存率に大きく関係していると考えられる海水の温度等について、IoT機器を活用し、常時観測。
品質向上及び安定供給への貢献に向け取り組み中。

■ネットワーク形成に向けた活動

・大学等の研究成果を産業界へ橋渡しするためのシンポジウムや
フォーラムを開催



平成30年5月15日開催
AI・数理・計算科学をテーマとするシンポジウム



平成31年3月6日開催
データサイエンスをテーマとするフォーラム

3 KPIの達成状況

KPI	H30n 目標	H30n 実績	達成率
技術・製品の改良中・実用化件数(件)	18	30	166.7%
よろず相談対応件数(件)	210	322	153.3%
産学共同研究開発に資する開発資金等 獲得のための提案件数(件)	7	7	100%

②福岡市・九州離島広域連携事業

事業費：10,712千円

1 目的

福岡市と直行便が就航している、対馬市、杵岐市、五島市、新上五島町、屋久島町が連携し、福岡市と各離島を巡る新たな周遊コースのPR等を行い、国内外旅行者の流入による交流人口の拡大、地域創生の人材育成やまちづくりに繋げる。

【総合戦略における位置づけ】

＜基本目標 I＞

しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる
(エ)観光・MICE振興による交流促進

2 実施内容

■国内旅行商品造成等業務

- ・国内の宿泊予約サイトにおけるRe島プロジェクト専用プランの販売特設ページの開設やWeb広告配信等による販促プロモーションの実施
- ・首都圏等からの誘客促進プロモーションの実施

《国内向け業務：宿泊予約サイトの特設ページ》



■海外プロモーション推進等業務(中国, 香港, 韓国)

- ・メディア等の招請による旅行商品造成や販促プロモーションの実施

《海外向け業務：中国向け招請事業》



■広域観光戦略策定等業務

- ・各離島の着地型観光人材や情報発信人材の育成
- ・台湾の観光関係者の招請による受入環境状況等の調査
- ・宿泊事業者を対象とした宿泊予約サイトへの登録支援

《広域業務：着地型人材育成事業》



■公式ホームページ運営等業務

- ・ポータルサイトとしての機能強化, HPのアクセス向上対策等の実施

《公式ホームページ》



3 KPIの達成状況

KPI	H30n目標	H30n実績	達成率
離島航空路・航路利用者数 (福岡からの直行便のみの降客数, 1月～12月)(人)	585,200	579,403	99.0%
外国人延宿泊者数(福岡市を除く, 1月～12月)(人) ※屋久島町の実績値が未確定のため見込値を記載	159,400	227,523	142.7%
本事業で造成する旅行商品 (福岡経由または福岡発離島行き)の利用者数(人)	800	2,996	374.5%

③大規模国際スポーツ大会を契機とした スポーツの振興及び地域の活性化

事業費:54,853千円

1 目的

世界規模のスポーツ大会を開催することにより、イベント開催ノウハウおよび来訪者の消費喚起ノウハウを習得して、新たな大会の招致と経済波及効果の最大化に繋げるとともに、大規模国際スポーツ大会を契機としたスポーツの振興と地域の活性化を県内全域に波及させる。

【総合戦略における位置づけ】

<基本目標 I >
しごとを増やし、活力につながる人の流れをつくる
(エ)観光・MICE振興による交流促進

2 実施内容

福岡県と福岡市が共同で設置したラグビーワールドカップ2019福岡開催推進委員会事務局において、以下の事業を実施

■大会開催準備事業

- 1)各種実施計画の策定, リハーサルの実施
 - ・交通輸送実施計画, ファンゾーン運営計画策定
 - ・上記計画に基づくリハーサル実施
- 2)シティドレッシングの実施
 - ・福岡市内各所で大会装飾を実施

■気運醸成事業

- 1)カウントダウンイベントの開催
 - ・開催500日前, 開催1年前, ニューイヤーイベントを開催
- 2)パブリックビューイングの開催
- 3)大会までのカウントダウン開始
- 4)ラグビーワールドカップラッピングバス運行 ほか

■広報事業

- 1)海外プロモーション事業
 - ・フランス, 香港, オーストラリアにおいてPR活動を実施
- 2)各種広報の取組み
 - ・広報媒体への広告掲出, ポスター掲出, PR映像上映, 公式SNS (Facebook等)による情報発信を実施

■ラグビー普及事業

- 1)アジアラグビー交流フェスタ
 - ・アジア各国および国内の中学生チームによる交流大会を実施
- 2)ラグビー体験事業
 - ・県内の小学校等でタグラグビー体験授業等を実施

3 KPIの達成状況

KPI	H30n実績については、R1年9月(予定)の福岡県総合計画審議会で報告されるもの	H29n 目標	H29n 実績	達成率
キャンプの受入やホストシティ・タウンの取組みを行う市町村数(件)		13	14	107.7%
福岡県身体障がい者体育大会の登録者数(人)		831	707	85.1%
NPO・ボランティアと県との協働事業数(事業)		186	187	100.5%



開催500日前イベント



ラッピングバス

④アクティブシニアの生涯現役さきがけ事業

事業費：94,639千円

1 目的

健康寿命の延伸を図るとともに、保健福祉医療分野の新たなサービスを創出する仕組みを構築し、超高齢社会に対応した活力ある都市づくりを進める。

【総合戦略における位置づけ】

＜基本目標Ⅲ＞
超高齢社会に対応した持続可能で質の高い都市をつくる
(ア)生涯元気に活躍できる社会づくり

2 実施内容

■「福岡100」の推進

- ・人生100年時代を見据えた持続可能な健寿社会のモデル構築を目指し、社会的ニーズや効果が高い事業をリーディング事業として実施

■地域との協働による移動支援モデル事業

- ・東区香住丘校区において、福岡市から車両を貸出し、地域ボランティアが運転や付添を行い高齢者の買い物支援を行うモデル事業を継続実施



■超高齢社会対応検討(アラカンフェスタ)

- ・60歳前後を中心とした幅広い世代が、必要な情報や人に出合える、セカンドライフを考えるきっかけづくりとして実施



■福岡ヘルスラボ運営

■認知症コミュニケーション・ケア技法

「ユマニチュード®」講座の普及

■アクティブ・シニアの就業支援

■健康・社会参加インセンティブ制度検討

3 KPIの達成状況

KPI	H30n目標	H30n実績	達成率
活躍シニア数(人)	330	199	60.3%
行動変容した市民数(人)	15,000	22,711	151.4%
新たな事業創出数(事業)	7	15	214.3%
海外展開する事業者数(事業)	1	0	0%